

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第49週 (12/2-12/8) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数 | 49週 | 48週 | 47週 | 46週 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 小児科       | 18  | 18  | 18  | 18  |
| 眼科        | 5   | 5   | 5   | 5   |
| インフルエンザ*  | 28  | 28  | 28  | 28  |
| 基幹定点      | 1   | 1   | 1   | 1   |

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

| 定点   | 感染症名                      | 千葉市 |             |             |             |             | 千葉県<br>11/25-12/1<br>48週 |
|------|---------------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------------------|
|      |                           | 注意報 | 12/2-12/8   | 11/25-12/1  | 11/18-11/24 | 11/11-11/17 |                          |
|      |                           |     | 49週         | 48週         | 47週         | 46週         |                          |
| 小児科  | RSウイルス感染症                 |     | 1<br>0.06   | 1<br>0.06   | 0<br>0.00   | 2<br>0.11   | 25<br>0.19               |
|      | 咽頭結膜熱                     | ○   | 16<br>0.89  | 8<br>0.44   | 6<br>0.33   | 6<br>0.33   | 68<br>0.50               |
|      | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎             | ○   | 55<br>3.06  | 44<br>2.44  | 49<br>2.72  | 46<br>2.56  | 624<br>4.62              |
|      | 感染性胃腸炎                    |     | 131<br>7.28 | 102<br>5.67 | 67<br>3.72  | 60<br>3.33  | 653<br>4.84              |
|      | 水痘                        |     | 7<br>0.39   | 11<br>0.61  | 2<br>0.11   | 9<br>0.50   | 90<br>0.67               |
|      | 手足口病                      |     | 21<br>1.17  | 19<br>1.06  | 16<br>0.89  | 29<br>1.61  | 153<br>1.13              |
|      | 伝染性紅斑                     |     | 11<br>0.61  | 15<br>0.83  | 5<br>0.28   | 5<br>0.28   | 51<br>0.38               |
|      | 突発性発しん                    |     | 11<br>0.61  | 8<br>0.44   | 9<br>0.50   | 5<br>0.28   | 45<br>0.33               |
|      | ヘルパンギーナ                   |     | 1<br>0.06   | 1<br>0.06   | 1<br>0.06   | 3<br>0.17   | 10<br>0.07               |
|      | 流行性耳下腺炎                   |     | 0<br>0.00   | 1<br>0.06   | 1<br>0.06   | 0<br>0.00   | 15<br>0.11               |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) | ○   | 184<br>6.57 | 75<br>2.68  | 48<br>1.71  | 85<br>3.04  | 971<br>4.52              |
| 眼科   | 急性出血性結膜炎                  |     | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00                |
|      | 流行性角結膜炎                   |     | 3<br>0.60   | 0<br>0.00   | 1<br>0.20   | 2<br>0.40   | 26<br>0.76               |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎<br>(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)   |     | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00                |
|      | 無菌性髄膜炎                    |     | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00                |
|      | マイコプラズマ肺炎                 |     | 1<br>1.00   | 0<br>0.00   | 1<br>1.00   | 0<br>0.00   | 3<br>0.33                |
|      | クラミジア肺炎<br>(オウム病を除く)      |     | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00                |
|      | 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルスに限る)     |     | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00                |

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(12件)

| 病名                 | 性  | 年齢層  | 診断(検査)方法                      | 病名             | 性  | 年齢層   | 診断(検査)方法  |
|--------------------|----|------|-------------------------------|----------------|----|-------|-----------|
| 結核                 | 男性 | 30歳代 | IGRA検査                        | レジオネラ症         | 男性 | 80歳代  | 病原体抗原の検出  |
| 結核                 | 男性 | 30歳代 | IGRA検査等                       | 梅毒             | 男性 | 40歳代  | 血清抗体の検出   |
| 結核                 | 男性 | 50歳代 | 画像検査等                         | 梅毒             | 女性 | 20歳代  | 血清抗体の検出   |
| 結核                 | 女性 | 50歳代 | IGRA検査                        | 百日咳            | 女性 | 10歳未満 | 病原体遺伝子の検出 |
| 結核                 | 女性 | 70歳代 | IGRA検査等                       | 百日咳            | 女性 | 30歳代  | 病原体遺伝子の検出 |
| カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 男性 | 60歳代 | 細菌の検出、<br>薬剤耐性の確認<br>及び起因菌の判定 | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 男性 | 60歳代  | 病原体の分離・同定 |

・第49週は、結核5件(155)、レジオネラ症1件(15)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(18)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(8)、梅毒2件(34)、百日咳2件(134)の報告があった。

※ ( )内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第49週のコメント

＜咽頭結膜熱＞前週より増加し0.89となった。過去10年の同時期と比べると最多。

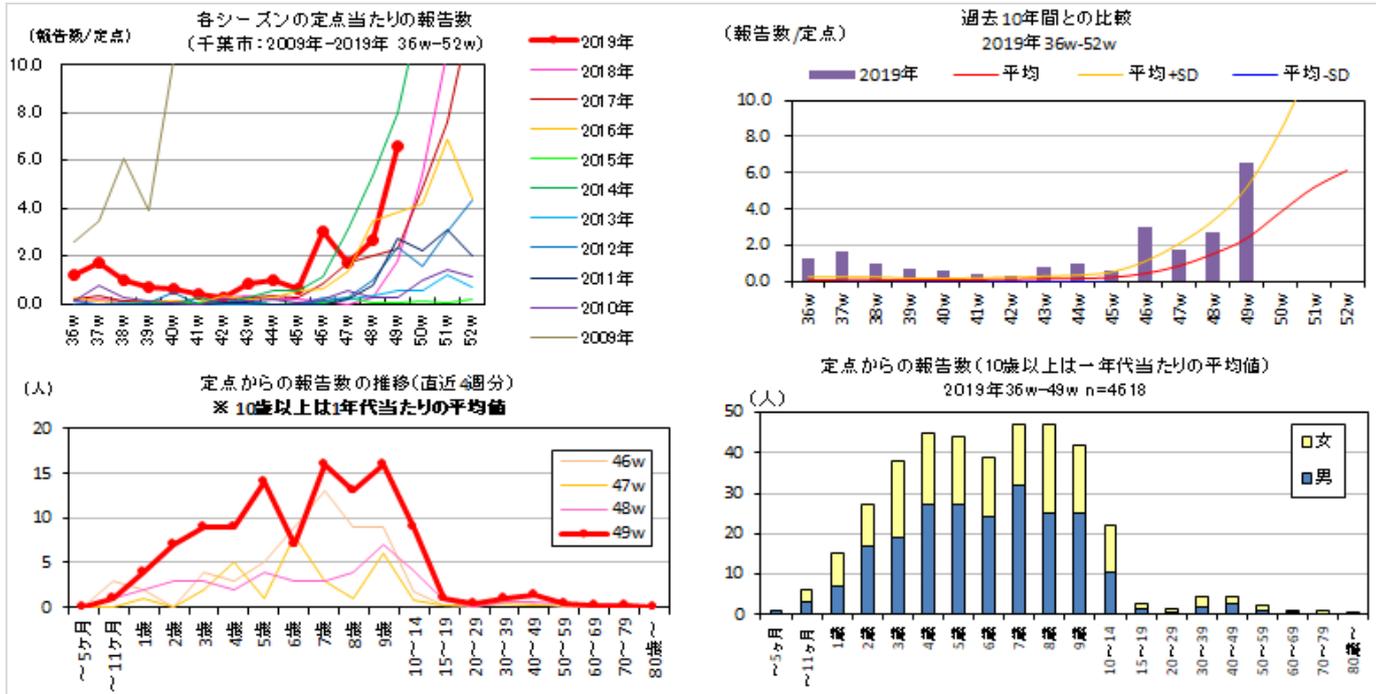
＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞前週より増加し3.06となった。過去10年の同時期と比べると多め。

＜インフルエンザ＞前週より大幅に増加し6.57となった。過去10年の同時期と比べると2009年のパンデミックを除いてと多い。

### ■ トピック ■

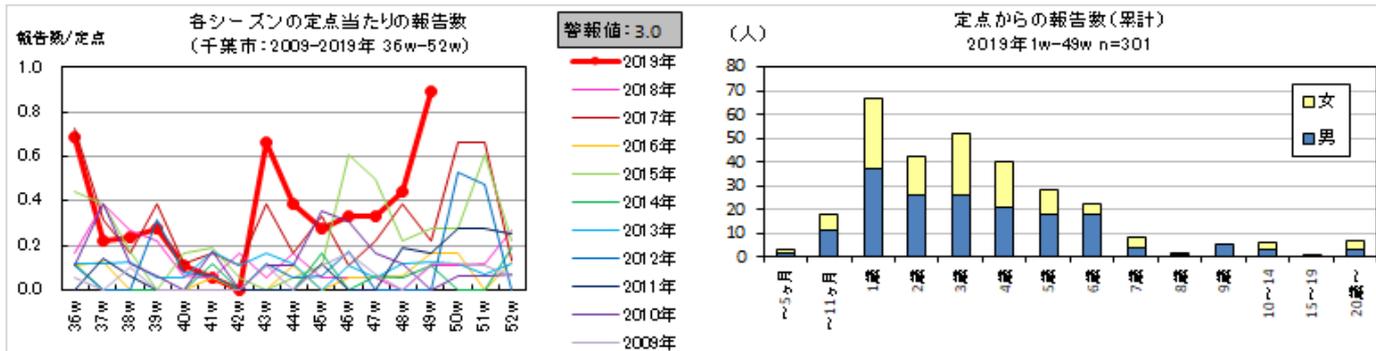
#### ＜インフルエンザ＞

全国レベルの第48週の定点当たりの報告数は5.52となり、過去10年の同時期と比べると2009年のパンデミックを除き最多のままとなっています。都道府県別では北海道、青森県、石川県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は4.52で、全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市の第49週は前週より大幅に増加し6.57となりました。過去10年の同時期と比べると2009年のパンデミックを除きとも多くなっています。区別の発生状況は、若葉区(11.00/定点)で流行発生注意報基準値(10.00/定点)を上回り最多で、同区の10歳代前半で最も多く、一年代当たりでは5歳及び8歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2019年第36週から第49週までの累積報告数は618件で、性別では男性が54.85%(339名)、女性が45.15%(279名)となっており、年齢階級別では7歳及び8歳(共に7.61%:47名)、4歳(7.28%:45名)の順で多く、20歳未満が全体の76.70%(474名)、10歳未満が全体の56.80%(351名)となっています。



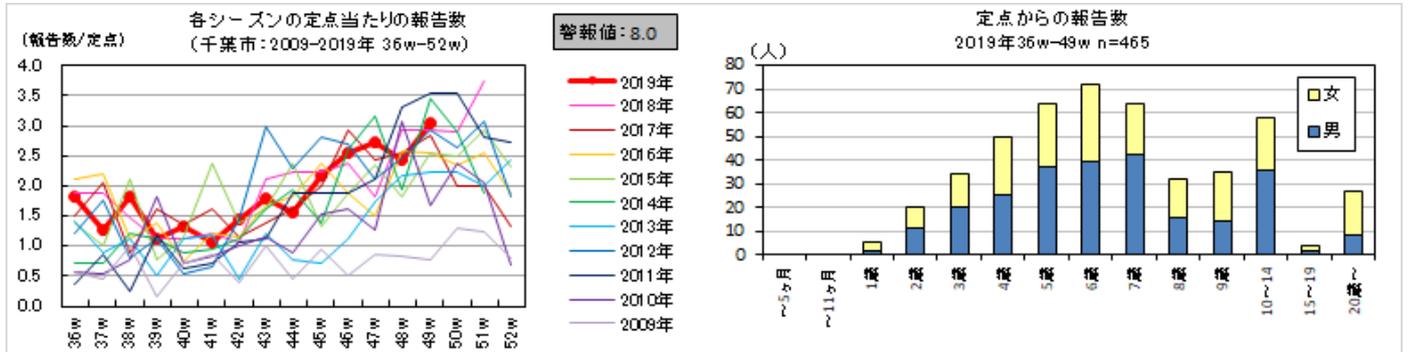
#### ＜咽頭結膜熱＞

全国レベルの第48週の定点当たりの報告数は0.63となり、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では佐賀県、鳥取県、新潟県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.50で、全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市では第43週から過去10年の同時期と比べて高い水準で推移していましたが、第49週は前週より増加し0.89となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、若葉区(2.00/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第49週までの累積報告数は301件で、性別では男性が58.14%(175名)、女性が41.86%(126名)となっており、年齢階級別では1歳(22.26%:67名)、3歳(17.28%:52名)、2歳(13.95%:42名)の順で多くなっています。



## <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第48週の定点当たりの報告数は3.10となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では山形県、新潟県及び佐賀県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は4.62で、全国レベルと比べるととても多くなっています。千葉市の第49週は前週より増加し3.06となり、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、若葉区(6.50/定点)で最多で、同区の2歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2019年第36週から第49週までの累積報告数は465件で、性別では男性が54.19%(252名)、女性が45.81%(213名)となっており、年齢階級別では6歳(15.48%:72名)、5歳及び7歳(共に13.76%:64名)の順で多くなっています。



## <梅毒>

全国レベルの第48週の累積報告数は6079件となっており、過去10年の同時期と比べると最多であった昨年(6376件)の次に多くなっています。都道府県別では東京都(1565件)、大阪府(976件)、愛知県(334件)の順で多く報告されています。千葉県は135件で全国第9位となっています。千葉市では第49週に2件の発生届があり、2019年の累積報告数は34件となり、過去10年で最多となりました。性別では男性が55.9%(19名)、女性が44.1%(15名)となっており、年齢階級別では20歳代(29.4%:10名)、40歳代(23.5%:8名)、30歳代(17.6%:6名)の順で多くなっています。病型では早期顕症梅毒Ⅰ期が20.6%(7名)、早期顕症梅毒Ⅱ期が26.5%(9名)、晩期顕症梅毒が5.9%(2名)、無症状病原体保有者が47.1%(16名)で、感染経路別では、性交が47.1%(16名)、性交及び経口が8.8%(3名)、不明が44.1%(15名)で、性型別では異性間が41.2%(16名)、同性間が8.8%(3名)、不明が38.2%(13名)となっています。

